



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカキュー

コード番号 8166 URL <http://www.taka-q.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木内 守

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 佐藤立育

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 平成27年9月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	11,700	△5.4	△391	—	△276	—	△405	—
27年2月期第2四半期	12,361	1.1	△76	—	37	△90.0	△77	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	△16.65	—
27年2月期第2四半期	△3.18	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
28年2月期第2四半期	11,358	—	6,995	—	61.6	287.09
27年2月期	14,146	—	7,381	—	52.2	302.94

(参考)自己資本 28年2月期第2四半期 6,995百万円 27年2月期 7,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	△1.7	200	30.0	400	7.9	100	—	4.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期2Q	24,470,822 株	27年2月期	24,470,822 株
28年2月期2Q	103,974 株	27年2月期	103,520 株
28年2月期2Q	24,367,052 株	27年2月期2Q	24,367,615 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
商品別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の経済対策及び金融政策の効果を背景に、輸出関連企業を中心として収益の改善が進みました。一方、当衣料品小売業界におきましては、全体として消費増税後の購買意欲の冷え込みが回復したとまでは言えず、先行きが不透明な状況が続いております。

このようななか、当社は最高の「お客様満足」を提供するために、「基本の徹底」に努めながら、“Speed”、“Challenge”、そして“more Communication”をテーマとして商品開発力・接客力の向上に取り組みました。

売上面は、第1四半期は4月中旬以降5月まで天候にも恵まれ、スタイルオーダースーツ等の付加価値商品を中心に概ね堅調に推移しました。第2四半期は、スーツ及びジャケットが前年売上を確保したものの、半袖のドレスシャツやスラックス等のクールビズ関連商品が不振でした。また前年3月は消費増税に伴う駆け込み需要があったこともあり、当第2四半期累計期間では既存店売上高前年同期比8.0%減となりました。その他、オンラインショップの販売強化に努め、順調に推移しております。

商品面では、機能素材や清涼素材を使用したスタイルオーダースーツの増強、“レノマ(renoma)”や“ウィルクス・バシュフォード”のジャケットの強化等、素材にこだわった上質かつ機能性の高い商品を積極的に展開しました。また秋冬物の立ち上げを早めると共に、引続ききめ細かい在庫コントロールに注力しております。

店舗面では、主力業態のタカキューを6店舗、エム・エフ・エディトリアルを2店舗、シャツ・コード、ウィルクス・バシュフォードを各1店舗、計10店舗出店しました。一方、低効率等により6店舗退店し、当第2四半期会計期間末で店舗数は前年同期比4店舗増の282店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は117億円（前年同期比5.4%減）となりました。利益面では、前期に引続き全般的な経費圧縮に努めましたが、過去在庫の圧縮による値下高の増加もあり営業損益は3億9千1百万円の損失（前年同期は営業損失7千6百万円）、経常損失は2億7千6百万円（同経常利益3千7百万円）、また減損損失の計上により、四半期純損失は4億5百万円（同四半期純損失7千7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して27億8千7百万円減少し、113億5千8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が17億1千9百万円、売掛金が4億8千万円、商品が5億2千3百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して24億1百万円減少し、43億6千2百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が20億8千2百万円、未払法人税等が1億3千2百万円およびその他の未払消費税等が1億6千1百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して3億8千6百万円減少し、69億9千5百万円となりました。主な要因は、評価・換算差額等でその他有価証券評価差額金が6千8百万円増加し、利益剰余金が4億5千4百万円減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に対して17億1千9百万円減少し、6億3千7百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、14億7千2百万円の支出（前年同期比18億5千7百万円の収入減少）となりました。これは非資金的費用である減価償却費3億4百万円、売上債権の減少4億8千万円およびたな卸資産の減少5億2千6百万円等による資金増と、税引前四半期純損失4億9千7百万円、仕入債務の減少20億8千2百万円および法人税等の支払1億8千2百万円等の資金減によるものです。

なお、前事業年度末日が金融機関の休日だったことにより、当第2四半期累計期間中に決済処理を行った売上債権の減少2億4千万円と仕入債務の減少14億3千万円がそれぞれ含まれております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億9千7百万円の支出（前年同期比2億3千7百万円の支出減少）となりました。これは敷金及び保証金の回収による収入が1億3千7百万円ありましたが、新規出店および改装等により有形固定資産の取得による支出2億4千8百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4千9百万円の支出（前年同期比7千2百万円の支出減少）となりました。これは主に配当金の支払4千9百万円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の実績を踏まえ、平成27年4月3日に公表しました通期業績予想に対し、売上高を下方修正いたしました。営業利益、経常利益、当期純利益につきましては変更ありません。

なお、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,356,957	1,637,536
売掛金	1,479,846	999,321
商品	3,179,923	2,656,332
貯蔵品	47,036	44,609
繰延税金資産	107,119	258,069
その他	226,629	231,121
流動資産合計	8,397,511	5,826,991
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	489,839	426,606
器具及び備品(純額)	688,146	575,224
その他(純額)	5,442	1,315
有形固定資産合計	1,183,428	1,003,146
無形固定資産	453,104	394,850
投資その他の資産		
関係会社株式	247,523	343,855
賃貸不動産(純額)	29,964	28,712
差入保証金	308,006	244,988
敷金	3,233,290	3,197,247
繰延税金資産	204,713	170,892
その他	186,624	147,590
貸倒引当金	△98,149	-
投資その他の資産合計	4,111,973	4,133,287
固定資産合計	5,748,506	5,531,284
資産合計	14,146,018	11,358,276
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	845,834	993,026
電子記録債務	3,606,977	1,377,557
未払法人税等	216,616	84,091
賞与引当金	134,119	185,104
店舗閉鎖損失引当金	1,469	4,472
その他	1,141,542	886,577
流動負債合計	5,946,560	3,530,828
固定負債		
退職給付引当金	20,189	20,189
資産除去債務	683,986	698,604
その他	113,357	113,142
固定負債合計	817,533	831,935
負債合計	6,764,093	4,362,764

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	4,783,486	4,328,972
自己株式	△26,110	△26,207
株主資本合計	7,325,861	6,871,249
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,063	124,262
評価・換算差額等合計	56,063	124,262
純資産合計	7,381,924	6,995,511
負債純資産合計	14,146,018	11,358,276

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	12,361,661	11,700,133
売上原価	5,290,954	5,052,883
売上総利益	7,070,706	6,647,250
販売費及び一般管理費	7,146,825	7,038,996
営業損失(△)	△76,118	△391,745
営業外収益		
不動産賃貸料	155,756	157,629
手数料収入	50,844	51,673
その他	29,713	20,934
営業外収益合計	236,315	230,237
営業外費用		
不動産賃貸費用	106,389	105,035
その他	16,406	10,418
営業外費用合計	122,796	115,453
経常利益又は経常損失(△)	37,400	△276,962
特別損失		
減損損失	55,295	220,309
特別損失合計	55,295	220,309
税引前四半期純損失(△)	△17,894	△497,271
法人税、住民税及び事業税	62,373	53,771
法人税等調整額	△2,897	△145,263
法人税等合計	59,475	△91,492
四半期純損失(△)	△77,370	△405,779

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△17,894	△497,271
減価償却費	257,239	304,908
減損損失	55,295	220,309
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	△98,149
賞与引当金の増減額（△は減少）	7,826	50,984
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	3,967	3,003
有形固定資産除却損	5,574	2,821
受取利息及び受取配当金	△3,345	△4,216
売上債権の増減額（△は増加）	△123,319	480,524
たな卸資産の増減額（△は増加）	809,675	526,017
仕入債務の増減額（△は減少）	△380,247	△2,082,228
未払消費税等の増減額（△は減少）	178,042	△161,472
その他	△95,679	△35,636
小計	697,132	△1,290,407
法人税等の支払額	△311,932	△182,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	385,199	△1,472,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△406,217	△248,603
無形固定資産の取得による支出	△92,541	△2,453
出資金の回収による収入	220	1,290
敷金及び保証金の差入による支出	△66,216	△46,742
敷金及び保証金の回収による収入	220,908	137,347
資産除去債務の履行による支出	△39,270	△19,891
その他の資産取得による支出	△37,315	△22,496
長期預り保証金の返還による支出	△17,500	—
利息及び配当金の受取額	2,896	3,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435,037	△197,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の増減額（△は増加）	△85	△97
配当金の支払額	△121,177	△49,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,263	△49,262
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△171,101	△1,719,420
現金及び現金同等物の期首残高	2,235,017	2,356,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,063,915	637,536

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上高

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)		前事業年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	4,341,118	35.1	4,271,910	36.5	9,432,350	36.8
中衣料	606,156	4.9	542,811	4.6	2,097,618	8.2
軽衣料	6,995,779	56.6	6,453,782	55.2	13,235,786	51.6
その他衣料等	418,606	3.4	431,629	3.7	871,974	3.4
合計	12,361,661	100.0	11,700,133	100.0	25,637,728	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。